

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	IT検定対策Ⅱ		(NGM10N)
講義名 (コード)	IT検定対策Ⅱ		(NGM10NX)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	金井 翼	時間数	30
成績評価教員	金井 翼	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	ITパスポート資格試験を受験し合格する。ITパスポート単語帳を作成する。『とりあえずやってみる』のチャレンジ精神を育みます。
全体の内容と概要	11月の上旬に受験予定。その後2年時の履修科目「UX/UIデザイン」の入口としてITパスポート単語帳を制作する。
授業時間外の学修	なし
履修上の注意事項等	なし

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	ITパスポート試験の感覚がつかめるようになる。	資格試験の実践感覚をつかめるよう過去問を解く。
2	ITパスポート試験の感覚がつかめるようになる。	資格試験の実践感覚をつかめるよう過去問を解く。
3	ITパスポート試験の感覚がつかめるようになる。	資格試験の実践感覚をつかめるよう過去問を解く。
4	ITパスポート試験の感覚がつかめるようになる。	資格試験の実践感覚をつかめるよう過去問を解く。
5	ITパスポート試験の感覚がつかめるようになる。	資格試験の実践感覚をつかめるよう過去問を解く。
6	UXデザインを理解できるようになる。	UXデザインとは何か？を解説し、考えてみる。
7	UIデザインを理解できるようになる。	UIデザインとは何か？を解説し、考えてみる。
8	単語帳制作の入口を理解できるようになる。	実際にどのような単語帳を作るか話し合う。
9	役割りの重要性を理解できるようになる。	役割分担を決めて完成までの計画を立てる。
10	決めた計画どおりに進めることができる。	各役割ごとに分かれて作業開始。
11	決めた計画どおりに進めることができる。	各役割ごとに分かれて作業開始。
12	中間報告をし、次の課題を見つけることができる。	中間報告をして各役割ごとに課題を見つけて完成につながるようにする。
13	単語帳完成のめどをつけることができる。	各役割ごとに分かれて作業開始。
14	完成したことの達成感を体験できる	単語帳を完成させる。
15	次の課題などを共有することができる。	完成品を検証し、その後をどうするか考える。

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	前期使用教材を後期も使用する
参考文献・資料等	なし
備考	なし

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	SNS	(NKT13T)
講義名 (コード)	SNS	(NKT13TX)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年 1学年
対象コース	グローバルビジネスコース / WEBマーケティングコース	単位数 1
授業担当者	梶原 優輝	時間数 30
成績評価教員	梶原 優輝	講義期間 秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分 必修
実務者教員特記欄		授業形態 講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	SNS等を用いて自分の伝えたい情報を分かりやすく発信できるようにする
全体の内容と概要	自身でテーマを設定したり、決められたテーマに沿って制作した映像をオンラインにアップし分析・考察する
授業時間外の学修	なし
履修上の注意事項等	なし

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	映像の活用方法をそれぞれが見出し方針を決める	前期の動画マーケティングのおさらいと後期の方針の確認
2	SNSについて知識を深める	SNSとは
3	映像を制作する目的や方向を考えることに意識を向ける	映像のテーマを考えてみよう
4	メッセージが伝わる映像の組み立て方を考える	映像の構成を考えてみよう
5	決められた段取りに沿って動画を撮影することの重要性を理解する	制作(動画撮影)
6	決められたテーマや伝えたい情報を意識しながら映像を編集する	制作(動画編集)
7	考えた構成通りのものができているか、撮影素材の大切さを理解する	制作(動画編集~書き出し)
8	計画して制作した映像を観て流れを再確認する	発表・講評
9	指定された目的を達成する映像を制作するために企画・スケジューリングする	映像制作の依頼を受けてみよう
10	撮影に必要な機材やセッティングについて計画する	企画を進行する計画を立てよう
11	時間内に準備~撤収	制作(動画撮影)
12	役割分担する等、グループワークの練習	制作(動画編集)
13	映像をチェックし目的が達成されているか再確認する	制作(動画編集)
14	筆記試験・制作物提出等	期末テスト(制作物提出+映像制作への理解度チェックのための筆記試験)
15	総評	テストフィードバック

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	なし
参考文献・資料等	なし
備考	なし

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	WebデザインⅡ		(NGM10B)
講義名 (コード)	WebデザインⅡ		(NGM10BX)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数	1
授業担当者	水野 泰雄・水野 翔	時間数	30
成績評価教員	水野 泰雄・水野 翔	講義期間	秋学期
実務者教員	はい	履修区分	必修
実務者教員特記欄	有限会社デザインルーム エム所属	授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	webサイトの設計とマルチデバイス対応をより効率的に進めるためのワークフローをwordoressを使って理解・制作する実践編
全体の内容と概要	ホームページのデザイン(概論・概要)・制作基礎・実践を学びます(html・CSSの基礎・応用)
授業時間外の学修	上田商工会議所のSNS・webサイトとの授業連動(予定)
履修上の注意事項等	なし

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	コーディングのスキルを覚える 1	前期の復習と、HTML・CSSの基礎を身に付ける
2	コーディングのスキルを覚える 2	HTML・CSSのの実践編
3	WordPressブログを始める手順 1	WordPressとは～と、初期設定(詳しくは二次次へ)
4	WordPressブログを始める手順 2	WordPress管理画面についてと、Googleアナリティクスとサーチコンソールの設定(詳しくは二次次へ)
5	Web制作現場の基礎知識取得 1	Adobe Photoshopでの演習(グラフィックデザイン基礎との併用)
6	Web制作現場の基礎知識取得 2	Adobe Illustratorでの演習(グラフィックデザイン基礎との併用)
7	Web制作現場の実践 1	実践に即したバナーやLINKボタンなど各部品デザイン・作成
8	Web制作現場の実践 2	ページデザインの作成方法を学ぶ
9	Web制作現場の実践 3	ページデザインのコーディングを学ぶ
10	実際の演習を身に付ける 1	本物のサイト受注から打ち合わせ・制作・検収・納品までの流れを覚える
11	実際の演習を身に付ける 2	本物のサイトヘデータアップする時の注意点や見栄えを学ぶ
12	実際の演習を身に付ける 3	実際の依頼に合わせて制作・評価を見る
13	実際の演習を身に付ける 4	全員でのデザインコンテスト & ディスカッション
14	まとめと解説	全体を通しての Q & Aとおさらい
15	まとめと解説	コンテスト結果発表と評論 & 来年度へのお願い

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	なし
参考文献・資料等	なし
備考	上田商工会議所のSNS・webサイトとの授業連動(予定) 担当教員はWEBデザインの実務経験を活かし、WEBデザインの基礎から実践までを体系的に指導する

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	Webマーケティング基礎Ⅱ	(NKT13S)	
講義名 (コード)	Webマーケティング基礎ⅡH	(NKT13SH)	
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	グローバルビジネスコース / 観光ホスピタリティコース / WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	吉田 達矢	時間数	30
成績評価教員	吉田 達矢	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	前期で学んだ理論や実例をベースに実践を行う
全体の内容と概要	WEBを使ってマーケティングを行うこと=WEBマーケティングということを理解するために実際にグループワークで実践を行う
授業時間外の学修	必要に応じて授業準備として事前に生徒間でグループディスカッションを行う
履修上の注意事項等	なし

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	前期振り返り	前期の内容を振り返ってリマインド 後期の目標の共有 (他の授業連携して実習する) グループ分け
2	ペルソナを作る	ターゲットがどういう人なのか探す方法 グループで実際に作業してペルソナを作ってみる
3	ペルソナの裏付けを取る	各グループでペルソナを発表して、互いに評価する ペルソナの精度を高めること
4	セルフブランディングする	SWOT分析を説明 自分たちの強み、弱点、機会、自分たちにとっての脅威をグループごとに分析してみる
5	3Cと4Pを理解する	商品を分析すること3C 市場を分析すること4P
6	3Cと4Pを実践する	グループごとに3Cと4P分析を行う グループごとに3Cと4P分析結果を発表し相互評価する
7	ペルソナと3C&4Pの関係を理解する	以前つくったペルソナと前回の3C&4Pの結果を照らし合わせ それらをまとめて、全体のバランスを調整する
8	ここまでの振り返り	やってきたことのつながりと関係をしっかり確認する 疑問があればそれを解決する
9	NBLのブランディングを行う	グループごとにNBLのSWOT、3Cと4P分析をおこなう その結果からブランディングストーリーと生徒予備軍のペルソナを考える
10	NBLのブランディングを行う	グループごとに結論を発表、相互評価を行う NBLの良さを伝えるワードを考える (全員)
11	キャッチコピーを作る	NBLの良さを伝えるワードの発表 互いに評価して、みんなが納得できるものにする
12	生徒募集コンテンツを考える	どこの誰にむけるか (ペルソナ) どんなことを伝えるか (ブランディングストーリー) NBLに来ることのメリット (商品価値)
13	募集コンテンツを作る	ビジュアルも含めた募集コンテンツをInstagramなどで作成 募集コンテンツのゴールをどうするか決め投稿する
14	結果判定を理解する	アクセスログをみて、そのコンテンツが役立ったかを判断する
15	後期まとめ	後期の振り返りと試験について

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	なし
参考文献・資料等	講師の実際の業務のなかで守秘義務契約に触れない範囲のものを適時提供
備考	なし

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	Webリテラシー II		(NGM10D)
講義名 (コード)	Webリテラシー II		(NGM10DX)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	水寄 歩実	時間数	30
成績評価教員	水寄 歩実	講義期間	秋学期
実務者教員	はい	履修区分	必修
実務者教員特記欄	有限会社デザインルームエム所属	授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	チームで作業をする上で実用を前提としたWEBツールの使用方法を身につける
全体の内容と概要	架空のイベントを設定した上で各種WEBツールを活用し、チームでの実用シーンを踏まえた各サービスの使い方を学びます。
授業時間外の学修	写真撮影や架空のイベントの現地調査などを行う場合があります。
履修上の注意事項等	なし

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	チームでの企画実行にWEBサービスを利用する必要性を理解する	架空のイベントを企画し、これの企画書と予算書の作成、目標の設定をします。
2	グループウェアの使い方がわかる	実際にチームを作り、グループウェアを導入します。またその際に、グループウェアでのコミュニケーションを円滑にする工夫を考えます。
3	チームで利用するファイル共有サービスなどの選定ができる	チーム内で使用するファイル共有サービスやドキュメント作成サービスの特徴を知り、最適なツールはどれかを考え選定し、使用ルールを考えます。
4	ファイル共有サービス等の使い方がわかる	ファイル共有サービスの特徴を把握した上で、使用方法やできること・できないことを詳しく学びます。
5	チームでのタスク管理や進捗管理の方法がわかる	タスク管理や進捗管理などができるWEBサービスを知り、チームでの使い方を学びます。
6	WEBサービスを使用したプレゼンテーションの作成方法がわかる	チームで企画のプレゼンテーションを作成します。また、わかりやすいプレゼンテーションを作るコツや構成の考え方について学びます。
7	プレゼンテーションの発表の方法がわかる	プレゼンテーション作成の仕上げと発表、相互のフィードバックを行います。
8	告知用のSNSアカウントの作成と運用戦略を立てられる	告知用SNSアカウントを作成し、チームで共有する方法を学び、運用ルールを策定します。また、生成AIを使用したプロフィール作成を行います。
9	SNSアカウントの詳細な分析を行う	スプレッドシート・Excel等を使ったSNSアカウントの分析を行います。テーブルからグラフの作成、注目すべきデータは何か考えます。
10	ファイル共有と管理の方法がわかる	ファイル共有サービスを使用して、外部の人とファイル共有をする方法を学びます。
11	告知用のチラシやSNS用画像の作成方法がわかる	Canva、Adobe各種アプリケーション等を使用し、告知用の各種媒体を作成します。
12	チームで起こり得るトラブルとその対応方法がわかる	チームで企画を進めていく際に起こり得る問題やこれまで実際に起った問題、実際の事例や回避方法などを学びます。
13	企画実施当日の振る舞いや起こるトラブル、対処法がわかる	実際にイベントが開催されると仮定して、起こり得るトラブルを考え、対処法を考えます。
14	まとめ	イベント開催時に収集したデータから目標達成が出来たかどうかを分析します。また、次に開催すると仮定した時の反省点や感想を共有します。
15	まとめ	半期を振り返って反省点や成長した点、これからの展望などをそれぞれ発表し、フィードバックします。

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	なし
参考文献・資料等	参考文献：3色だけでセンスのいい色／秒で伝わるパワポ術 購入希望：みんなのユニバーサル文章術／僕たちはどう伝えるか
備考	担当教員はWEBデザイン業界での実務経験を活かし、実用を前提としたWEBツールの使用方法を教授する



1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	Web経営 II		(NGM10H)
講義名 (コード)	Web経営 II		(NGM10HX)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	吉澤 隆一	時間数	30
成績評価教員	吉澤 隆一	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	オンライン上でチームをつくり活動 実務レベルのWeb経営知識を習得する
全体の内容と概要	授業内容に関する具体的なテーマを設定してプロジェクト活動を行う
授業時間外の学修	オンラインでの活動
履修上の注意事項等	パソコン、スマホのどちらでも作業ができるように練習する

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれぞれに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	リアル社会とネット社会の関係を考えることができる	社会との関わりをつくろう 社会と接点を持ち、活動しながら考え、学ぶテーマを探り、プロジェクト化する
2	プロジェクト活動を実行できる	プロジェクト活動 3ヶ月の期間でプロジェクトを設定し、PDCAを回す
3	プロジェクト活動を実行できる	プロジェクト活動 作業
4	プロジェクト活動を実行できる	プロジェクト活動 作業
5	プロジェクト活動の評価、修正ができる	プロジェクト活動 中間評価、修正
6	プロジェクト活動を実行できる	プロジェクト活動 作業
7	プロジェクト活動を実行できる	プロジェクト活動 作業
8	プロジェクト活動を実行できる	プロジェクト活動 作業
9	プロジェクト活動を実行できる	プロジェクト活動 作業
10	プロジェクト活動の評価、修正ができる	プロジェクト活動 中間評価、修正
11	プロジェクト活動を実行できる	プロジェクト活動 作業
12	プロジェクト活動を実行できる	プロジェクト活動 作業
13	プロジェクト活動を実行できる	プロジェクト活動 作業
14	実行経過や結果をまとめることができる	まとめ プロジェクト活動をプレゼン資料としてまとめる作業を行う
15	実行内容について短時間で説明ができる	まとめ プレゼン大会 個人ごとにまとめたものをプレゼンする

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	なし
参考文献・資料等	なし
備考	なし

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	キャリアデザインⅡ		(NKT13Q)
講義名 (コード)	キャリアデザインⅡA		(NKT13QA)
対象学科	国際コミュニケーション学科 / グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	英語キャリアコース / グローバルビジネスコース / 観光ホスピタリティコース / WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	江戸 真依子	時間数	30
成績評価教員	江戸 真依子	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	・ 社会人として必要とされるマナーを習得する。・ 面接の流れを理解し、面接に向けての準備を整える。・ 志望する企業向けの履歴書を完成させる。
全体の内容と概要	・ 講義と演習により、面接へ向けて実践的なマナーやスキル、履歴書の記入方法を習得する。
授業時間外の学修	・ 自身の興味のある企業に関するリサーチ (インターンシップ含む)
履修上の注意事項等	・ 主体性をもって、授業に取り組む姿勢

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	後期に学ぶことを理解し、主体的に取り組むことができるようになる	【オリエンテーション】後期に学ぶこと、2回目よりニュースの発表 【演習】後期学びたいことについてグループワーク、マンダラチャートの記入
2	学生時代に力を入れたことが書けるようになる	【講義】学生時代に力を入れたことについての書き方 【演習】これまでの学生生活で力を入れたことのエピソードを記入
3	内的キャリアと外的キャリアが理解できるようになる	【講義】自分の内的・外的キャリアを考える方法について 【演習】自分の内的・外的キャリアについて記入
4	未来史が作成できるようになる	【講義】死ぬまでにしたいこと、3・5・10・20・30年後の設計 【演習】死ぬまでにしたいこと、未来史の記入
5	気になる業界について調査できるようになる	【講義】業界について、業界の種類、周辺の業界について 【演習】気になる業界や周辺の業界について記入し、発表（2分/人）
6	志望する企業を選択し、分析ができるようになる	【講義】企業を選ぶ6つの視点を知り、志望する企業を選択【演習】志望する企業について、6つの視点で分析し、記入
7	競合他社について理解することができるようになる	【講義】志望する企業の競合を知り、調べる 【演習】競合他社について調べ、発表（2分/人）
8	志望する企業への志望動機が書けるようになる	【講義】志望動機の記入のポイント 【演習】志望動機の記入
9	履歴書の書き方を理解し、記入できるようになる	【講義】記入方法やポイントについて、エントリーシートとは 【演習】志望企業向け履歴書作成、提出
10	履歴書を完成させることができるようになる	【講義】訂正ポイント説明 【演習】志望企業向け履歴書訂正、提出
11	面接の基本が理解できるようになる	【講義】面接の基本、マナー 【演習】学生同士で練習/個別面談
12	面接のテクニックを習得できるようになる①	【講義】実際にあった面接の質問例の紹介 【演習】質問例の回答を記入/個別面談
13	面接のテクニックを習得できるようになる②	【演習】質問例を活用し、学生同士で面接の練習/個別面談
14	後期試験	【試験】選択・記述式(100点)
15	フィードバック・まとめ	【後期試験フィードバック】試験のフィードバック、後期のまとめ

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	『留学生のための就職内定ワークブック』（一般社団法人留学生支援ネットワーク）
参考文献・資料等	適宜プリント、就活に関するニュースなどの情報シェアを行う
備考	なし

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	キャリアデザインⅡ	(NKT13Q)	
講義名 (コード)	キャリアデザインⅡH	(NKT13QH)	
対象学科	国際コミュニケーション学科 / グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	英語キャリアコース / グローバルビジネスコース / 観光ホスピタリティコース / WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	江戸 真依子	時間数	30
成績評価教員	江戸 真依子	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	・ 社会人として必要とされるマナーを習得する。・ 面接の流れを理解し、面接に向けての準備を整える。・ 志望する企業向けの履歴書を完成させる。
全体の内容と概要	・ 講義と演習により、面接へ向けて実践的なマナーやスキル、履歴書の記入方法を習得する。
授業時間外の学修	・ 自身の興味のある企業に関するリサーチ (インターンシップ含む)
履修上の注意事項等	・ 主体性をもって、授業に取り組む姿勢

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	後期に学ぶことを理解し、主体的に取り組むことができるようになる	【オリエンテーション】後期に学ぶこと、2回目よりニュースの発表 【演習】後期学びたいことについてグループワーク、マンダラチャートの記入
2	学生時代に力を入れたことが書けるようになる	【講義】学生時代に力を入れたことについての書き方 【演習】これまでの学生生活で力を入れたことのエピソードを記入
3	自分のスキルについて、文章にすることができるようになる	【講義】好きなこと、できること、得意なことを考える。資格について考える。 【演習】自分のスキルについて記入
4	志望する業界・企業を選択し、調査ができるようになる	【講義】企業研究の進め方、業界・業種と職種 【演習】志望する業界・企業について記入
5	競合他社について理解し、調査ができるようになる	【講義】競合他社とは 【演習】競合他社について調べ、発表（2分/人）
6	志望動機が記入できるようになる	【講義】志望動機 【演習】競合他社について調べ、発表（2分/人）
7	履歴書の書き方を理解し、記入できるようになる	【講義】記入方法やポイントについて、エントリーシートとは 【演習】志望企業向け履歴書作成、提出
8	履歴書を完成させることができるようになる	【講義】訂正ポイント説明 【演習】志望企業向け履歴書訂正、提出
9	面接の基本を理解することができるようになる	【講義】面接の種類と心構え、面接官の視点、身だしなみ、言葉遣い、 【演習】好印象を与える話し方の練習/個別面談
10	面接の流れを理解することができる	【講義】個人面接、集団面接の流れと対策、オンライン面接について 【演習】学生同士で練習/個別面談
11	実際の面接で聞かれる質問に備えることができるようになる	【講義】実際にあった面接質問例の紹介 【演習】質問例の回答を記入/個別面談
12	面接のテクニックを習得できるようになる①	【講義】面接の種類、面接での評価ポイント 【演習】学生同士で練習、模擬面接チェックシートに沿ってフィードバック
13	面接のテクニックを習得できるようになる②	【講義】面接の種類、面接での評価ポイント 【演習】学生同士で練習、模擬面接チェックシートに沿ってフィードバック
14	後期試験	【試験】選択・記述式(100点)
15	フィードバック、まとめ	【後期試験フィードバック】試験のフィードバック、後期のまとめ

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	日本能率協会マネジメントセンター「専門学校生のための就職内定 基本テキスト
参考文献・資料等	適宜プリント、就活に関するニュースなどの情報シェアを行う
備考	なし

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	グラフィックデザイン基礎Ⅱ	(NGM10F)	
講義名 (コード)	グラフィックデザイン基礎Ⅱ	(NGM10FX)	
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数	1
授業担当者	金井 翼	時間数	30
成績評価教員	金井 翼	講義期間	秋学期
実務者教員	はい	履修区分	必修
実務者教員特記欄	有限会社デザインルーム エム所属	授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	前期で身に付けたことを活かし、実際に作品を制作し、定めた期日までに完成させる。『とりあえずやってみる』のチャレンジ精神を育みます。
全体の内容と概要	課外授業で必要となる名刺や就職活動で必要となる履歴書を作成し、その後は公募債サイト「唐雨竜門」にて作品を出品する。
授業時間外の学修	なし
履修上の注意事項等	なし

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	名刺の制作方法を理解できるようになる。	名刺を制作することは販促物制作の基礎になることを説明し、実際に制作する。
2	名刺の制作方法を理解できるようになる。	前回に引き続き名刺制作。
3	履歴書の制作方法を理解できるようになる。	履歴書の制作を通し、オブジェクトとテキストの適切なレイアウトを解説する。
4	履歴書の制作方法を理解できるようになる。	前回に引き続き履歴書制作。
5	ロゴマークの制作方法を理解できるようになる。	どのロゴマーク公募作品に応募するか決める。
6	ロゴマークの制作方法を理解できるようになる。	ロゴマーク制作について説明する
7	ロゴマークの制作過程を理解できるようになる。	ラフ画を描いて、それに基づいて制作する。
8	ロゴマークの制作過程を理解できるようになる。	前回に引き続きロゴマーク制作。
9	制作したものを発表し相互理解できるようになる。	制作したロゴマークを発表し、その後公募先にデータを送る。
10	前回よりも制作方法が理解できるようになる。	どのロゴマーク公募作品に応募するか決める。
11	前回よりも制作過程を理解できるようになる。	ラフ画を描いて、それに基づいて制作する。
12	前回よりも制作過程を理解できるようになる。	前回に引き続きロゴマーク制作。
13	制作したものを発表し相互理解できるようになる。	制作したロゴマークを発表し、その後公募先にデータを送る。
14	illustratorのロゴ技を理解できるようになる。	illustratorのテキストには載っていない、作業の「ムダ」がみるみるなくなる実用テクニックを解説する。
15	新2年生の授業内容が理解できるようになる。	新2年生の「グラフィックデザイン応用」の内容を解説する。

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	前期使用教材を後期も使用する
参考文献・資料等	なし
備考	担当教員はグラフィックデザインの実務経験を活かし、グラフィックデザインの基礎知識から実践的なAdobeツールの使用方法までを体系的に指導する

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	パソコン検定対策Ⅱ		(NGM10L)
講義名 (コード)	ビジネスコンピューティングⅡH		(NKT13MH)
対象学科	国際コミュニケーション学科 / グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	英語キャリアコース / WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	竹内 玲子	時間数	30
成績評価教員	竹内 玲子	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	表計算ソフトExcelの基本操作・機能を習得し、実務への活用方法を学習する
全体の内容と概要	テキストに沿って様々な形式の課題を作成し、基本操作を身につける 前期でWord・PowerPoint、後期でExcelを学習します
授業時間外の学修	操作環境がない学生がほとんどだと思いますので、メニューの操作方法、数式の入力など テキストや授業時配布されたプリントで復習してください
履修上の注意事項等	資格取得の意欲のある学生には、資格試験 (MOS・日商PC検定) の練習もおこなっていきます

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率×0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。

	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。
--	---	------	-------------------------------

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	Excelの基本操作ができる	Excelの基礎 起動→画面構成確認 新規作成→入力方法・オートフィル練習→保存
2	表の挿入・編集ができる 合計を計算できる	表の作成 表の作成・書式設定・SUM関数
3	グラフの作成ができる	Excel グラフ作成 (グラフの種類と効果・縦棒、円グラフの作成・書式の変更)
4	オートSUMボタンの関数を理解できる	オートSUMボタンの関数 (SUM・AVERAGE・COUNT・MAX・MIN) 学習 データよりグラフ作成
5	RANK.EQ関数で 順位づけと関数の挿入ができる	順位づけ (RANK.EQ関数) Fxボタンよりの関数の挿入・検索の仕方 相対参照と絶対参照のちがいと切り替え方法
6	ROUND・UP・DOWN関数で 端数処理の意味を理解できる	ROUND・ROUNDUP・ROUNDDOWN関数のちがいと桁数の設定
7	条件判定と比較演算子の意味を理解できる	IF関数を使った条件判定の入力の仕方、比較演算子の意味と使い方
8	関数のネスト方法を理解できる	3つ以上の条件判定、関数のネストの入力方法
9	VLOOKUP関数を活用した 効率的な処理方法を理解できる	VLOOKUP関数の構造と使用方法
10	表検索入力の方法を理解できる	VLOOKUP関数とHLOOKUP関数のちがい
11	並べ替えとフィルター データの検索と抽出を理解できる	並べ替えの設定方法・フィルターの設定と抽出
12	条件付き書式とテーブル機能 視覚的なデータの把握と管理できる	カラースケール・データバー・アイコンセット他の条件付き書式の設定 テーブルの作成と機能の利用方法
13	ピボットテーブルの作成 機能を使ったデータ集計ができる	ピボットテーブルの作成・データの集計の変更方法
14	まとめと解説	期末テスト
15	まとめと解説	テストFB

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	30時間でマスター Office2021
参考文献・資料等	各問題集からの練習問題・プリント
備考	レベルに応じた資格試験の練習問題